

令和3年度 つくば市立春日学園義務教育学校グランドデザイン



どこよりも早く明日の教育に出会える学園
You can attain the modern style of Education at KASUGA.

【茨城県教育目標】

- ◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ◇郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

未来を拓き
社会に貢献できる人材の育成

【目指す児童生徒像】

しなやかな知性 ゆたかな感性
たくましい心身

【目指す教師像】

明るく前向きで 人間性豊かな教師
学び続け 授業力の高い教師
子どもの気持ちを理解できる教師

【つくば市教育目標】

学びたくなる楽しい学園・学校

世界の明日をひらく
社会力豊かな
幼児・児童・生徒の育成

【学びのイノベーション】

- ◇「教え」から「学び」へ
- ◇「管理」から「自己決定」へ
- ◇「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

★義務教育9年を貫く学びの連続性（系統的な指導、多様な異学年交流、リーダー学年の活躍の場）

前期（1年～4年）
～ 学びの土台作り ～

中期（5年～7年）
～ 学びの定着・拡充 ～

後期（8年・9年）
～ 学びの深化・発展 ～

★必要な力（学力）

- ①課題を発見する力
- ②発見した課題を分析し、探究する力
- ③課題解決に向け、他者と協力し、試行錯誤しながら実行する力

【組織目標】

自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成

ゆたかな感性

- ① 豊かにかかわり合う力の育成
 - 人権意識を育む環境づくり・多様性の尊重
 - 学級活動や生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進
 - SDGsを意識した、実社会とつながる学びへの深化
 - 外部人材を活用した豊かな体験活動
- ② 自己指導能力の育成
 - 自己決定の場や機会の工夫
 - 自己有用感の向上
 - 共感的人間関係の育成
- ③ 道徳教育の充実
 - いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的転換
 - 子どもの変化を継続的に捉え、成長を促す支援的評価
 - 家庭や地域と連携して行う活動等の推進

- ★自分にはよいところがある。（◎85%以上、○80%以上）
- ★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（◎100%）

しなやかな知性

- ① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 自ら課題を発見し、多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実
 - 教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業
- ② 双方向性を重視したICTの効果的活用
 - 1人1台端末の活用等における個別最適化学習と協働的な学びの充実
 - 対面指導と遠隔・オンライン教育のハイブリット化の推進
- ③ 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実
 - 一人ひとりの教育的ニーズに合った適切な支援
 - 認め合い、学び合い、育ち合う教育の推進

- ★話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。（◎85%以上、○80%以上）

たくましい心身

- ① 自己理解・自己管理能力の育成
 - 「体調・時間」管理の徹底と「感情」のコントロール
 - 自己の生き方をみつめる系統的なキャリア教育の推進
- ② 健やかな身体づくり
 - 健康で安全な生活を送るための実践力の育成
 - 栄養教諭による計画的な栄養指導
 - 体力テストを活用した体力向上プロジェクト
- ③ 安心・安全な教育環境づくり
 - 危機回避能力を育てるための計画的な安全教育
 - 教育相談の充実と、教職員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携・分担しながらのチーム支援

- ★自分の健康や安全を考えて行動することができる。（◎85%以上、○80%以上）

◆カリキュラムマネジメント

- 子どもや地域の実態を踏まえた教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進する。
- (1) 教科等横断的な教育課程を編成
- (2) PDCAサイクルで絶え間ない教育の質向上
- (3) 地域と連携した授業の編成

◆STEAM(スティーム)教育の充実

- 各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科等の横断的な視点に立った教育活動を推進する。
- (1) 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- (2) 科学的に思考し、吟味して活用する力
- (3) 価値を見つけ出す感性と力、好奇心・探究心

【学習環境の整備】

- ◆ ICT環境の整備
- ◆ 外部人材の活用
- ◆ 地域との連携
- ◆ 組織の活性化